

# 幸養苑だより

## はじめに



苑長 船橋 友寿

日ごとに春の気配が感じられるようになってまいりました。

保護者の皆様におかれましては、ますますご清祥のことと心よりお慶び申し上げます。日頃より当苑の運営に対し、多大なるご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、今年の青森市の冬は例年のない記録的な大雪に見舞われました。連日の猛吹雪と積雪により、当苑におきましても安全な運行の確保が極めて困難となり、通所送迎を中止せざるを得ない期間がございました。ご利用者様ならびにご家族の皆様には、多大なるご不便とご心配をおかけしましたことを、改めて深くお詫び申し上げます。皆様のご理解とご協力のおかげで、この厳しい雪害を大きな事故なく乗り越えることができましたことに、重ねて感謝申し上げます。

この冬の厳しさを越え、新しい季節を迎えようとするなか、当苑の今後の体制に関する重要なお報告がございます。当苑で長らく継続してまいりました「自立訓練(生活訓練)事業」につきまして、今年度末をもちまして廃止することといたしました。本事業は近年、対象となる利用希望者が不在の状態が続き、実質的に休止しておりました。事業継続の可能性を模索してまいりましたが、福祉を取り巻く環境の変化や専門人員の確保の難しさなどから、このたび一区切りをつける判断に至りました。長年にわたり本事業を支えてくださった関係者の皆様に深く感謝申し上げるとともに、今後は他の事業のさらなる充実に努めてまいります。

次年度となる令和八年度は、第7期障害福祉計画の最終年度にあたり、障害福祉サービスにおいて大きな節目を迎えます。施設入所ご利用者全員に対する「地域移行に関する意向確認」が完全に義務化され、指定基準にも反映されることとなります。当苑における地域移行の取り組みについて、私は「入所ご利用者を地域に移行させること自体」を目的とすべきではないと考えております。

最も大切なのは、ご利用者お一人おひとりが「どこで、どのように暮らしたいか」を自ら考え、表現できる環境を整えることです。私たちの役割は、形式的な調査にとどまらず、ご本人の自己決定を最大限に尊重した「意思決定支援」を丁寧に積み重ねていくことにあります。ご利用者が望む生活を実現するために、これからも寄り添いながら最善の形を共に模索してまいります。

社会情勢や制度が変わろうとも、私たちの使命は変わりません。それは、ご利用者やご家族から「選ばれる施設」であり続け、地域に根差し、信頼される存在であることです。今後もサービスの質向上に励み、職員一同、より良い支援の提供に努めてまいりますので、変わらぬご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

# クリスマス会



今回のクリスマス会は昼食を兼ねて実施し、クリスマス会らしい昼食を用意してくれました。エビフライに☆に型ぬいた人参でクリスマス気分の昼食でデザートはクリスマスケーキとプリンを美味しく頂きました。職員の余興(ダンス)や利用者さんのカラオケタイムみんなで踊ったり笑ったりとたくさんの笑顔を見ることができプレゼントやサンタさんとの記念撮影会も好評でした(笑)



# 年末年始



年末年始の連休は食べたいお菓子やジュースの希望を聞き購入し宴会をしながら映画鑑賞をして楽しみました。大晦日の宴会では自分で好きな寿司や焼き鳥など購入しいつもとは違う食事を満喫しました。ホットプレートで肉も焼いて美味しくいただきました。



# 餅つき会

餅つき会を開催しました！

「よいしょ～！よいしょ～！」の掛け声でお餅を楽しくつき、日本の伝統文化をみんなで体験し、親睦を深める事ができました。楽しかった為か何度もお餅をついた利用者さんもいらっしゃいました。つきたてのお餅はあんこ・きな粉・みたらしをかけてみんなで美味しく頂きました！



# 節分



2/3 節分の日、豆まき会が開催されました。今年の**赤鬼**は横内支援員、**青鬼**はなんと幸養苑 1 の美女荒川支援員が頑張ってくれました。今年も良い年になるようにと願いを込めて、豆の代わりにボールを鬼にぶつけて見事鬼を退治する事が出来ました。利用者みなさんのおかげです。豆まきの後はお菓子をみんなで食べて楽しく過ごしました。



## 外出訓練

市営バスを使用した外出訓練を行いました。これから苑を出て一人暮らしの希望をされている事も、生活訓練に繋げる為昼食・買い物を兼ね八重田・ラセラ方面へ行ってきました。八幡林のバス停まで歩き、事前にバスの時刻を本人と確認しました。バスに乗り幸養苑からバスでお出掛けをするのは初であり、楽しみもありましたが不安な様子も見られていました。大雪でバスの到着も遅れるという事態がありました。昼食はびっくりドンキーで久々という事も、おいしそうに食事をされていました。運動不足もあり疲れた様子見られていましたが、これからのご本人の生活に少しでもプラスになるような支援をこれからもしていきたいです。頑張りましょうね！



## 誕生会

11月 12月 1月 2月  
生まれの皆さん

**誕生日おめでとうございます。**

幸養苑では毎月施設入所の利用者さんのお誕生日をお祝いしています。

皆さんやっぱりケーキは大好きなようで、あっという間にたいらげてしまいます。来年もおいしいケーキを食べてお祝いしましょうね



# 地域連携推進会議

**地域連携推進会議**とは、障がいのある方が安心して地域生活を送れるよう、共同生活援助や障がい者支援施設が開催する会議です。外部の視点を取り入れることで、事業運営の透明性を高め、支援の質を確保することが目的です



令和8年1月29日、幸養苑にて「**地域連携推進会議**」を初めて開催しました。ご利用者ご本人・ご家族、民生委員、他施設の施設長、青森市障がい者支援課の皆さまにご参加いただき、施設見学と意見交換を行いました。会議では、入浴・食事・健康管理など「個々のリズムに合わせた生活支援」や、創作活動・季節行事など日々の取り組みを紹介しました。また、感染対策の強化、職員研修の充実、地域移行への丁寧な意向確認、ICT活用など、現在の重点事項について報告しました。

さらに、地域行事への参加や実習受け入れといった現状に加え、「地域住民との接点不足」「災害時の連携体制の強化」などの課題も共有し、今後の方向性を確認しました。参加者からは「自施設の参考になった」「行事の準備も手伝いたい」といった温かいご意見をいただき、地域とのつながりの大切さを改めて感じる機会となりました。幸養苑では、今後も地域と共に歩む施設づくりを進めてまいります。

令和7年11月20日、青森市民病院や青森厚生病院の感染管理認定看護師、および青森市保健所の保健師をお招きし、「**青森県感染対策特別研修会**」を開催いたしました。今年度は施設内でも新型コロナウイルスやインフルエンザ、ノロウイルスの発生があり、感染対策の重要性を改めて痛感する一年となりました。

研修ではまず、動画で正しい手洗いや個人防護具(PPE)の着脱方法を確認した後、講師の助言を受けながら実際の着脱訓練を行いました。また講師の方々に施設内やご利用者の食事場面を直接見ていただき、現場に即した貴重な助言をいただきました。「手が最大の感染経路となるため、食事介助時は対象者が変わるたびに手指消毒を徹底すること」や、感染疑い時の「隔離対応の正しい手順」など、平時からの備えの大切さを再認識しました。今回の学びを日々のケアに確実に活かし、ご利用者の皆さまと職員の命を守るため、より一層安心・安全な環境づくりに努めてまいります。

## 青森県感染対策特別研修会

**青森県感染対策特別研修会**とは機関や社会福祉施設などで働く人々の感染対策に関する知識やスキルの向上を目的として、青森県が開催している研修会です。



## 訃報

令和8年1月1日に生活介護を利用されていた北田将幸さんが逝去されました。22歳ととても若く、これから色々な経験や楽しみが待っていると考えるとやるせない気持ちでいっぱいです。明るく誰からも愛され、みんなを笑顔にさせてくれる存在でした。今でも大好きな音楽や動画を見て踊ったりしている姿が目には浮かびます。約4年間という短い時間でしたが、たくさんの思い出をありがとうございました。ご冥福をお祈りいたします



## 今後の予定

	3月	4月	5月	6月
行事予定	-	14日ランチバイキング 20日～順次お花見会	-	4日利用者健康診断
土曜日 開所日	7・14日	18日	2・9・16・23・30日	なし



※コロナウイルス感染症その他流行りもの対策の為、引き続き手洗いうがい可能な範囲でマスクの着用をお願いします。  
法人 ホームページ <http://care-net.biz/02/seiyokai> 幸養苑 アドレス [koyoen@car.ocn.ne.jp](mailto:koyoen@car.ocn.ne.jp)